

令和4年度 新宿ものづくりマイスター

新宿区 技の名匠 紹介

新宿区では、区内の事業所でものづくり産業の同一業種に10年以上携わり、優れた技術・技能を有し、かつ後進の指導を行い他の模範となる方を「技の名匠」として認定しています



技の名匠
MAP

技の名匠 認定者一覧

令和4年10月現在

平成20年度	1 富田 篤 東京染小紋 (株)富田染工芸 西早稲田3-6-14 ☎3987-0701	29 大澤 学 東京手描友禅 東京手描友禅工房 協美 下落合4-6-17 ☎3954-3331
	2 故西澤 幸雄 東京手描友禅	30 北川 幹雄 紋章上絵・染色補正 (有)幾久清 早稲田鶴巻町521 ☎3202-0964
	3 青木 勉 製本 司製本(株) 東五軒町5-19 ☎3260-2483	31 多湖 朋 管楽器修理 (管楽器全般) (株)ダク 百人町2-8-9 ☎3361-2211
	4 故兼平 欣治 シール印刷	32 並木 良夫 表具 引 退
	5 石田 毅司 つまみかんざし製造 イシダ商店 高田馬場4-23-28-401 ☎3361-3083	33 渡邊 博之 製本 (株)博勝堂 西五軒町9-1 ☎3269-5248
	6 松田 義明 紳士服製造 (株)テーラーマツダ 新宿6-16-22 ☎3352-0008	平成26年度
	7 飯島 武文 東京手描友禅 榊延工房 戸山2-33-1334 ☎3203-8755	34 藤井 正 和食調理 退 職
	8 石崎 直治 日本刺繍 引 退	35 井上 豪 和生菓子製造 (資)梅花亭 神楽坂6-15 ☎5228-0727
平成21年度	9 高岡 昌生 活版印刷 (有)嘉瑞工房 西五軒町11-1 ☎3268-1961	36 吉澤 敏 湯のし (有)吉澤湯のし加工所 上落合1-9-8 ☎3368-2521
	10 故市瀬 廣夫 帽子製造	37 田島 靖教 内装木質・アルミ建材等補修 (株)パーンリペア 北山伏町1-11 牛込食糧ビル3階 ☎5227-1390
	11 坂本 国雄 金属原型彫刻 (株)SAKAMOTO 東櫻町12 ☎3235-0226	38 水野 功一 畳製造 水野畳店 四谷本塩町1-5 ☎3341-1760
	12 伊藤 史安 管楽器修理 (フルート) 村松楽器販売(株) 西新宿3-11-1 ☎3367-6000	39 宇佐美 隆三 浸染 宇佐美捨染工房 北新宿4-25-13 ☎5330-6816
	13 高橋 一朗 管楽器修理 (管楽器全般) 高橋管楽器 大久保2-16-33 高橋ビル1階 ☎3209-7750	平成27年度
	14 熊崎 和人 東京手描友禅 熊崎工房 長野県佐久市下平尾598-16 ☎0267-66-1972	40 岡本 尚也 印章彫刻 岡本印房 住吉町1-10 J&E高田ビル1階 ☎3353-2265
	15 松田 光二 染色補正 (有)松田 上落合2-21-25 ☎3368-1594	41 佐々木 精一 活版印刷 (有)佐々木活字店 櫻町75 ☎3260-2471
平成22年度	16 松本 義明 桐笛管製造 (株)単筒の松本 四谷2-10-6 ☎3355-1151	42 中村 博幸 引染 ふじや染工房 高田馬場3-28-13 ☎3368-8559
	17 石森 信二 管楽器製造 (株)石森管楽器 百人町1-20-23 ☎3360-4970	43 佐藤 順子 洋裁 Jフローラ 富久町34-6 ☎3357-7283
	18 山本 隆志 弦楽器製造 引 退	平成28年度
	19 福室 隆一 無地染 福室染工場 中落合4-21-17 ☎3953-6048	44 高橋 俊隆 琴・三味線修理 (有)高橋琴・三味線店 高田馬場1-31-8-109 ☎3209-6531
	20 真淵 貴昭 東京手描友禅 工房 貴美 中井2-21-26 ☎3953-7675	45 遠藤 興喜 手描友禅(金彩) 藤工芸社 上落合1-7-12 ☎3362-8874
平成23年度	21 大橋 信彦 足袋製造 (有)むさしや 四谷本塩町1-7 コート金井101 ☎3351-7359	平成29年度
	22 竹内 正治 和竿製造 引 退	46 平林 隼人 手描染 染芸工房 隼人 弁天町4 ☎3202-0653
	23 故藤塚 勝栄 義肢・装具製造 (有)藤塚製作所 上落合2-21-15 ☎3362-0414	47 相田 茂 和生菓子製造 (有)五十鈴 神楽坂5-34 ☎3269-0081
	24 故工藤 博 手描友禅	48 常川 直喜 畳製造 高岡屋常川畳店 四谷4-18-2 ☎3351-8611
平成24年度	25 砂川 裕孝 東京染小紋 (株)松綱染工所 練馬区高松6-29-7 ☎3925-6070	49 金田 朝政 東京染小紋 (有)金田染工場 下落合1-14-4 ☎3951-5703
	26 鮎澤 剛 革製品製造 鮎藤革包堂 筑士八幡町5-12 SKビル ☎3267-0409	50 中村 隆敏 引染 ふじや染工房 高田馬場3-28-13 ☎3368-8559
	27 捧 恭子 婦人靴製造 Belpasso(ベルパッソ) 神楽坂3-6 佐藤荘1階 ☎5228-6528	51 井上 正 製本 和光堂(株) 山吹町341 ☎3260-7271
	28 萩森 弥郁夫 管楽器修理 (オーボエ・バスーン) (株)ルポア 西新宿7-19-9 西新宿ビル ☎5989-1157	令和元年度
		52 小倉 隆 東京手描友禅 (有)小倉染芸 高田馬場3-25-8 ☎3361-2366
		53 小林 茂生 染色補正 染色補正 彩徳 高田馬場4-19-2 ☎5386-4371
		54 井上 英子 更紗 (一社)染の里おちあい 上落合2-3-6 ☎3368-8133
		55 山本 加代子 モダン紅型 おかめ工房 中落合1-17-12 清水ビル1階 ☎090-8043-2758



このロゴマークは「技の名匠」を表し、新宿の「新」と新しい未来に向かう「新」をイメージしています

新宿区

技の名匠及びロゴマークは新宿区の登録商標です



山本加代子

やまもと かのこ

昭和22年生まれ。30代後半より紅型染めを始める。デザイン、型紙製作、豆汁(呉汁)作り、糊置き、地入れ、色挿し、色止め、水洗いなどの工程を習得し、沖縄の工房でも学んだ。平成19年、新宿区上落合に工房「おかめ工房」を構え、平成29年に現在の中落合へ移転。

紅型の多くは型紙を使用して染める。1枚の型紙を反復して布に置き色を挿すことで同じ模様が得られる。「色挿し」は3回行う。模様にはまず色を擦り込む。さらにもう一度擦り込むことで色を定着させる。そして最後に専用の刷毛でぼかし、絵柄を引き締め色彩に透明感を与える。これが「隈取り」という紅型の特徴的な技法である。

業種 **モダン紅型**
事業所 新宿区中落合1-17-12 清水ビル1階
おかめ工房
電話 090 8043 2758

● 顔料・豆汁(呉汁)・糊 ●



紅型の染料は基本的に「顔料」を使う。顔料は水や油に溶けないので大豆を搾った汁「豆汁(呉汁)」で溶く。豆汁は糊を丈夫にし、顔料の定着を良くする力がある。

● 型紙を彫る ●



デザインをする

型紙に図案を転写してデザインカッターで彫る

このあと紗張りをして型紙に仕上げる

沖縄では本土の様なはっきりした季節感がないため、動植物、自然の風物、建物などさまざまなモチーフが1枚の絵(型紙)に描かれることが多い。そのような伝統的なデザインに加えて、独自のデザインでの制作を目指した。色挿しに用いる顔料も、基本の赤・黄・青・緑・紫だけでなく他の色もそろえ、独自のデザインに合わせた色彩を出している。

また、紅型はもともと着物へ染められる技法であったが、着物や帯にとどまらず小物や掛け軸、

ランプシェード、クッションなどインテリア製品への展開も行い用途の拡大に努めている。自ら掛け軸や屏風に仕上げるために東京都技能士検定「表装技能士1級」の資格も取得した。

オリジナル作品の製作とともに体験教室や出張講座も精力的に行い、国内外からの見学や技術習得希望へも積極的に応じている。後継者育成も8年目を迎えた。令和3年には第19回東京都美術館ZEN展にて掛け軸で「理事長賞」を受賞。

● 作品 ●



令和3年 第19回東京都美術館ZEN展 理事長賞
掛け軸「枝垂桜、菖蒲、蝶」2連作

✿ 一般的な紅型の工程 ✿

紅型の多くは型紙を使用して染める。1枚の型紙を反復して生地(生地)に置くことで連続した模様(連続模様)が得られる。「色挿し」は3段階に分けて行う。「隈取り」は紅型の特徴的な技法である。

1. 型紙を彫る

型紙を補強・固定するために目の細かい網状の布(紗)を張る

2. 型紙に紗張りをする

型紙の図柄や繊細な空間部分が補強された

3. 紗の上からカシュー液またはペンキを塗り紗を型紙に固定させる

型紙の裏側に染み出るのを防ぐために幅広の刷毛で豆汁をたっぷりつける

4. 糊を置く(防染)

型紙をずらして連続模様を作る

5. 地入れ

顔料が糊の裏側に染み出るのを防ぐために幅広の刷毛で豆汁をたっぷりつける

6. 色挿し

糊が置かれていない部分に色を挿していく。豆汁で溶いた顔料は固定剤の役目も果たす

色挿し①

模様部分に顔料を豆汁で調整して刷毛で擦り込む。顔料は豆汁で溶くことでしみ防止にもなる

色挿し②(上塗り)

さらにもう一度擦り込むことでしっかりと色が入る

色挿し③(隈取り)

色挿しの済んだ模様の一部に専用の刷毛で擦ってぼかしを入れる

7. 色止め・仕上げ

最後に色止めとしてミョウバンを塗布し、模様や地色を定着させる。少なくとも3日以上置いてから糊を落とす